●次期「させぼっ子未来プラン」策定に向けた佐世保市の子どもと子育てを取り巻く現状と課題の整理表

資料6

| 望まれる姿 | 施策 | 取組の方向性（取組体系） | 課題 | 現状（検討材料）【実態ニーズ調査、若者インタビュー、統計データ 等】 | | 佐世保市の今後の課題 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 子どもを安心して産み、楽しく育て、子どもが健やかに成長できるまち | 1 母子保健の推進 | 妊娠・出産等に関する知識の普及 | ○望まない妊娠・出産による虐待のリスクの減少に向けた対応<br>○未成年の望まない妊娠による人工妊娠中絶の減少に向けた対応<br>○市内の乳幼児期から学齢期までにおける一貫した性教育の普及<br>○学生の頃から妊娠・出産に関する正しい知識を身につけ、将来のライフプランを考えるための啓発活動<br>○食育の推進による健全な食習慣、子どものアレルギー対策に関する啓発 | 「子どもの人数」…理想的な子どもの人数について、半数（53.3%）が「3人」と回答しているが、実際（現実的）には「2人」となっている状況 | 実態ニーズ調査【問31①②】 | ● 子どもや子育て家庭を支えてきた地域社会における子育て機能の低下を受け、妊娠、出産、子育て等の面で市民ニーズが多様化しています。<br><br>● また、児童虐待やヤングケアラーについて、相談や通告等が増加する傾向にあります。<br><br>【出典】<br>佐世保市総合計画（後期基本計画）から引用 |
| | | | | 「子どもの人数」…理想の子どもの人数よりも現実的に少ない理由として「経済的な負担が大きい」と回答した人が43.5%と最も高い | 実態ニーズ調査【問32】 | |
| | | | | 佐世保市の出生数は2022年時点で「1,639人」であり、前年比マイナス118人減少し、2012年からの10年間で約700人減少している | 統計データ（佐世保市） | |
| | | | | 佐世保市の婚姻件数は2020年時点で「1,071件」であり、2010年からの10年間でマイナス337件減少 | 統計データ（佐世保市） | |
| | | | | 全国の「平均初婚年齢」…夫31.1歳、妻29.7歳（令和5年）であり、平成17年の夫29.8歳、妻28.0歳と比較すると初婚年齢は上昇 | 統計データ（厚生労働省） | |
| | | 母子への切れ目ない支援と育児不安の軽減 | ○妊娠・出産・育児に関する問題の複雑化や子育て家庭の孤立化<br>○民間を含めた地域資源を活用した身近な地域での支援体制の構築<br>○産科、小児科医療機関等の関係機関との連携<br>○児童虐待の未然防止<br>○乳幼児の不慮の事故の未然防止<br>○災害時の妊婦や乳幼児に対する支援<br>○保護者の養育上の問題による子育て短期支援事業のニーズの高まり<br>○ヤングケアラーへの支援 | 「乳幼児健診などの母子保健サービス」…82.5%の人が「重要」であると回答（前回から約10ポイント上昇）、また約83%の人が「満足」「やや満足」と回答（前回から5.6ポイント上昇） | 実態ニーズ調査【問35①】 | |
| | | | | 「子育てに困ったときの相談窓口」…「重要度」については60.9%の人が「重要」であると回答（前回から約20ポイント上昇）、また約「満足度」についても約64%の人が「満足」「やや満足」と回答（前回から約15ポイント上昇） | 実態ニーズ調査【問35⑨】 | |
| | | | | 「児童虐待相談対応件数（新規）」…284件（令和5年度）であり、平成25年度からの10年間で193件増加 | 統計データ（佐世保市） | |
| | | | | 妊娠・出産期における各種サービスの要望<br>（産後の買い物サービス・おむつやミルク代の補助・施設における授乳室やおむつ替え場所の充実等） | 実態ニーズ調査【自由回答】 | |
| | | | | 子どもの健康・成育に対する支援の要望<br>（健診回数の増・発達状況の診断機会の充実・グレーゾーンの子どもの居場所等） | 実態ニーズ調査【自由回答】 | |
| | | 子どもの療育と発達支援 | ○療育関係者のスキルの向上<br>○医療的ケア児の支援を含めた公平・公正な保育の利用<br>○子ども発達センター等の関係機関や事業所間の連携<br>○子ども発達センターの新患の待ち期間の更なる短縮 | 「子ども発達センターの診療件数」…13,171件（令和5年度）<br>10年前の平成25年度の件数（9,443件）と比較し、3,728件の増加 | 統計データ（佐世保市） | |
| | | | | 児童発達支援事業所に対する意見・要望<br>（1日に1ヶ所しか行けないため、ある所は40分しか支援を受けられず、その後の預け先がなく支障がある）<br>（相談事業所の存在意義に対する疑問） | 実態ニーズ調査【自由回答】 | |
| | | | | 子どもの発達支援に関する要望<br>（発達センターの受診も時間がかかる（半年待ちなど）・発達に心配のある子どもに対する支援の場の充実） | 実態ニーズ調査【自由回答】 | |
| | | | | 子どもの発達支援に関する意見・要望<br>・発達障害に対して知識を広めてほしい（小学生保護者）<br>・みんなに発達障害について勉強会が各学校であると良いと思う（小学生保護者）<br>・発達障害（グレーゾーン）の子どもたちや不登校の子どもたちに対して、学校の先生たちの理解や支援が低いと感じる（中学生保護者） | 小・中学生保護者アンケート【自由回答】 | |
| | 2 地域での子育ての支援 | 地域における子育て支援の充実 | ○在宅の子どもに対する支援の整理<br>○ファミリーサポートセンター会員の登録数の増加を図るとともに、利用を促進するための仕組みの構築 | 「地域子育て支援拠点事業」…「利用していない」が約40%であり、このうち約3割は「地域子育て支援拠点事業等がよくわからない」と回答した | 実態ニーズ調査【問13, 15】 | ● 身近な地域に相談できる相手がいないため、助け合う機会も少なくなっていることから、子育て家庭が孤立し、その負担感が増大しています。<br><br>● また、子どもの放課後における生活をめぐっては、核家族化の進展や女性の社会進出等の変化に伴い、その過ごし方が多様化し、居場所について、ニーズの高まりとともに、質の確保も求められています。<br><br>【出典】<br>佐世保市総合計画（後期基本計画）から引用 |
| | | | | 「ファミリーサポートセンター」…会員数は令和5年1月末時点で2,638人であり、毎年増加している。活動状況は令和5年1月末時点で合計2,242件であり、このうち「買い物等外出の際の子どもの預かり」が947件で最も多い。 | 統計データ（佐世保市） | |
| | | | | 「させぼ子ども食堂ネットワーク」における民間ベースでの活動…11ヶ所（令和5年度） | 統計データ（佐世保市） | |
| | | 地域における子どもの健全育成 | ○児童センターのあり方の整理等を含めた地域における子どもの居場所づくり<br>○児童クラブのニーズ量等を踏まえた計画的な整備及び質の確保 | 「子どもの健全育成のための居場所や遊び場づくり」…「重要度」については81.6%の人が「重要」であると回答（前回から約22ポイント上昇）、また約「満足度」については54%の人が「満足」「やや満足」と回答したが、前回と比較するとマイナス1.8ポイント減少している | 実態ニーズ調査【問35⑥】 | |
| | | | | 「小学校就学後の放課後の過ごし方について」…低学年では、「放課後児童クラブ」が54.9%で最も高く、次いで「自宅」が38.1%であった。<br>高学年では、「自宅」が43.5%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ」が41.0%であった。 | 実態ニーズ調査【問24（1）（2）】 | |
| | | | | 「放課後に過ごす場所」…「放課後児童クラブ」と回答した割合が32%で「自宅」に次いで高く、「塾や習い事」と回答した割合が20.2%であった | 小学生保護者アンケート【問29】 | |
| | | | | 「特に力を入れてほしい子どもに関する取り組み」…小学校保護者において「放課後児童クラブをはじめとした、子どもの居場所の充実」と回答した人の割合40. 5%と最も高い | 小・中学生保護者アンケート【問34】 | |
| | | | | 放課後児童クラブに対する意見・要望<br>（放課後児童クラブに空きがなく、悩む親は多い・利用料が場所によって差があることに対する意見・利用所免除や補助の要望等） | 実態ニーズ調査【自由回答】<br>若者グループインタビュー<br>小学生保護者アンケート【自由回答】 | |
| | | | | 子どもの居場所に関する意見・要望<br>（子どもが喜ぶイベントを開催してほしい・気軽に1日中遊べる場所を作ってほしい・放課後や夏休みに地域の子どもたちが集えて、宿題などの自主学習ができる場所の提供などをしてほしい） | 実態ニーズ調査【自由回答】 | |
| | | | | 屋内遊び場に対する要望<br>（室内遊び場が少ない・既存施設（メリッタ）に対する意見（利用料が高い・駐車場が高い・駐車場が狭い）・室内の大きい無料施設がほしい） | 実態ニーズ調査【自由回答】<br>小学生保護者アンケート【自由回答】 | |
| | | | | 屋外遊び場（公園）に対する要望<br>・0～3才の子供が安全に遊べる施設を作ってほしい。・大型アスレチックが入った公園を作ってほしい。<br>・外遊びをさせたいのに、野球禁止、サッカー禁止、花火禁止の公園が多すぎる。周辺に住まいがない広い自由スペースのある公園ができてほしい。<br>・地区によっては小さな公園が廃墟化しており遊べる場所がない。・公園管理不備（トイレ含）に対する意見・要望<br>・新しい遊具の広い公園をたくさん作ってほしい。佐世保市の強みである森きらら、海きららはしっかりと関与して維持してほしい。<br>・四ケ町三ケ町アーケード内に遊べるスポットを作ってほしい。 | 実態ニーズ調査【自由回答】<br>小学生保護者アンケート【自由回答】 | |
| | 3 幼児教育・保育の充実 | 幼児教育・保育における量の確保と質の向上 | ○幼児教育・保育の無償化に伴う、今後の需要の変化等の動向把握及び量の確保方策<br>○多様なニーズに対応するための保育人材の確保<br>○認可外保育施設における保育の質の確保<br>○離島・辺地等における保育の維持<br>○幼児教育・保育に係る調査研究事業の成果について、乳幼児教育の質の向上への活用方策や学会等でのより多くの関係者に向けた情報発信<br>○多様な保育施設・保育形態に対応した研修の実施<br>○保幼小連携の全市的なシステムの継続と推進<br>○インクルーシブ教育を推進するため、保育者の『多様な子どもに対応できる知識・スキル』の向上 | 「保育所等の働きながら子どもを預けられる施設」…「重要度」については85.2%の人が「重要」であると回答（前回から約11ポイント上昇）、また約「満足度」についても61.4%の人が「満足」「やや満足」と回答（前回から8.4ポイント上昇） | 実態ニーズ調査【問35⑬】 | ● ライフスタイルや就業形態等が多様化する中、幼児教育・保育へのニーズもきめ細かなものに変化しています。<br>一方、乳幼児期は人格形成の基礎を培う大事な時期であることから、幼児教育・保育において、質の向上が求められています。<br><br>【出典】<br>佐世保市総合計画（後期基本計画）から引用 |
| | | | | 「母親の就労状況」…現在働いている母親、働きたい母親が増加している一方、1年以内に専業主婦を希望する母親は減少 | 実態ニーズ調査【問9①②】 | |
| | | | | 「教育・保育の量の見込み（実績）」…第2期当初計画・中間見直し時の推計値を下回っており、確保方策の実績値との乖離が拡大 | 統計データ（佐世保市） | |
| | | | | 保育料に対する意見・要望<br>（第2子以降（1、2歳児）の保育料無償化で「同時在園」という制度をなくしてほしい・保育料が高い・0歳児も無償化の対象としてほしい・なぜ3人目（上2人は小学生、3人目は保育園）なのに保育料を1人目の金額なのか。経済的に厳しい） | 実態ニーズ調査【自由回答】 | |
| | | 幼児教育・保育における多様な事業・サービスの展開 | ○医療的ケア児の受入など、多様な保育ニーズへの対応<br>○連携中枢都市圏事業における、病児・病後児保育の広域的な展開<br>○多様なニーズに対応するための保育人材の確保［再掲］ | 「多様なニーズにこたえられる幼稚園・保育所等」…「重要度」については80.4%の人が「重要」であると回答（前回から約9ポイント上昇）、また約「満足度」についても70.1%の人が「満足」「やや満足」と回答（前回から8.1ポイント上昇） | 実態ニーズ調査【問35⑧】 | |
| | | | | 「お子様の病気の際の対応」…前回と比較して父母ともに「仕事を休んで子どもを見た」の割合が増加している。 | 実態ニーズ調査【問20-1】 | |
| | | | | 「病児保育の認知度」…約96%と非常に高い。 | 実態ニーズ調査【問20-2】 | |
| | | | | 病児保育に対する意見・要望<br>・病児保育施設が少ない<br>・病児保育の預かり時間が各小児科もう少しだけ（18：30頃まで）延長してくれるとさらに働きやすい | 実態ニーズ調査【自由回答】 | |
| | 4 経済的支援の推進 | 経済的支援の充実 | ○福祉医療制度等における制度の認知度向上<br>○制度利用にあたっての利便性の向上<br>（「こども政策DX」の推進、デジタル技術を活用した手続の簡素化等） | 「子育てにあたって感じている不安・課題」…48%の人が「子どもの教育費や医療費などの経済的な不安」があると回答 | 実態ニーズ調査【問33】 | ● 子どもや子育て家庭においては、経済的な不安定さや子育てや教育にかかる費用負担などから多くの市民が子育てに係る経済的な不安を感じています。<br><br>【出典】<br>佐世保市総合計画（後期基本計画）から引用 |
| | | | | 「子どもの医療費や教育費の負担軽減などの経済的な支援」…「重要度」については約94%の人が「重要」であると回答（前回から約6ポイント上昇）、また「満足度」については前回より「不満」「やや不満」の割合が増加している。<br>重要度の平均値は13項目の中でも最も高く、一方で満足度の平均値は13項目の中で下から2番目であり、前回から満足度は低下している。 | 実態ニーズ調査【問35③】 | |
| | | | | 子どもの医療費に対する意見・要望<br>・子どもの医療費を無料にしてほしい　・最低でも中学生までは無料にして欲しい<br>・無料は無理でも少しは安くしてほしい　・病院変わるごとに月1600円は高い<br>・佐世保市は子供の病院代が無料ではない所が不満　以前住んでいた市では完全無料　病院代、処方箋薬局どちらも完全無料だったので引っ越してきて支払いがある事に驚いた　子どもの人数も多い為かなり経済的負担 | 実態ニーズ調査【自由回答】 | |
| | | | | その他経済的支援に対する意見・要望<br>・習い事などの補助をしてほしい　経済的な理由で子どものやりたいことを選ばせないといけない又はできない<br>・低所得層への支援はよくされていると感じる　ギリギリのとこにいる自分たちへの支援は全く感じられない　物価が高騰している今だからこそ、子育て世帯を対象に一律給付してほしい | 実態ニーズ調査【自由回答】 | |
| | | | | 「経済的な子どもへの影響」…小学生保護者においては「習い事に通わせられなかった」の割合が15.6%と最も高く、中学生保護者においては「お小遣いを渡せなかった」の割合が16.8%と最も高い。また、どちらにおいても「世帯区分2（貧困層）」の値が突出している。 | 小・中学生保護者アンケート【問18】 | |
| | | | | 「特に力を入れてほしい子どもに関する取り組み」…小学生保護者及び中学生保護者ともに、「ひとり親世帯」「世帯区分2（貧困層）」では、「ひとり親家庭への援助」と回答した人の割合が最も多い | 小・中学生保護者アンケート【問33】 | |
| | 施策を横断しながら包括的に推進する取組 | 育児休業 | ○育児休業の取得率の向上 | 「育児休業の取得状況」…「母親」については56.5%の人が「取得した（取得中である）」と回答し、前回より約20ポイント上昇。「父親」については10.9%の人が「取得した（取得中である）」と回答し、前回より8.7ポイント上昇しているものの依然として取得率は低い状況である。 | 実態ニーズ調査【問25】 | ●男性の育児休業取得率は上昇しているものの、依然として低い状況であり、「共働き・共育て」における仕事と子育ての両立に不安を感じている市民が半数程度存在しています。<br><br>●子育てと仕事が両立できる職場環境づくりにおいては、多くの市民が重要であると感じながらも、約半数の市民が不満であると感じています。<br><br>●時代の流れを踏まえて、若い世代の方や子育て世帯が必要とする情報について、手軽にたどり着き、わかりやすく知ることができるかが重要となります。<br><br>●こども基本法に基づき、こども施策の推進にあたって、こどもや若者の意見を聴き、施策に反映していくことが求められます。 |
| | | | | 「全国の育児休業取得率」…【2022年度】女性：80.2%、男性：17.13%（男性は前年度比3.16ポイント上昇）<br>※国の目標値→2025年までに50%、2030年までに85%（こども未来戦略より） | 統計データ（厚生労働省） | |
| | | 貧困対策 | ○子どもへの食事の提供 | 「子育てにあたって感じている不安・課題」…「子どもに対する食事の提供」と回答した人が14.3%であり、約7人に1人の割合で不安を感じる保護者が一定数存在している | 実態ニーズ調査【問33】 | |
| | | | | 【再掲】「させぼ子ども食堂ネットワーク」における民間ベースでの活動…11ヶ所（令和5年度） | 統計データ（佐世保市） | |
| | | | | 「子ども食堂への参加」…「参加させたい」と回答した割合は、小学生保護者が約40%、中学生保護者が約33%であった。また、「ひとり親世帯」や「世帯区分2（貧困層）」においては、その割合が高くなっている。 | 小・中学生保護者アンケート【問27】 | |
| | | | | 「週にごはんを食べる日数」…各世代（小学校低学年・小学校高学年・中学生）ともに「毎日食べる」割合が高い一方で、「朝・夕・長期休暇の昼ごはんを食べない日が6日以上ある」と回答した人が各世代において一定数存在している | 小・中学生アンケート【小低：問7-1、小高：問9-1、中：問10-1】 | |
| | | | | 「ごはんを食べない理由」…「ごはんが用意されていない」と回答した人が、各世代（小学校低学年・小学校高学年・中学生）ともに約30～40名程度存在している | 小・中学生アンケート【小低：問7-2、小高：問9-2、中：問10-2】 | |
| | | 共働き・共育て | ○男性の育児参加の推進<br>○仕事と子育ての両立への対応<br>○ワークライフバランスに係る企業等への働きかけ | 「共育て」…父親の育児参加について55.5%の人が子育てに積極的に参加している一方で、あまり育児に参加していない父親が約24%と一定数存在している | 実態ニーズ調査【問25】 | |
| | | | | 「子育てにあたって感じている不安・課題」…「子どもの育児と仕事の両立」を回答した人が56.2%であり最も高い | 実態ニーズ調査【問33】 | |
| | | | | 「子育てと仕事が両立できる職場環境づくり」…「重要度」については75.6%の人が「重要」であると回答（前回から12ポイント上昇）、また約「満足度」については49%の人が「不満」「やや不満」と回答したが、前回と比較すると6.4ポイント増加している | 実態ニーズ調査【問35⑪】 | |
| | | 情報発信・こども・若者の意見聴取 | ○時代の流れを踏まえた、随時有効な媒体を活用した情報発信<br>○状況の変化や市民ニーズに柔軟に対応できる相談窓口体制の構築<br>○こども・若者から意見を聴き、反映させる取組 | 「子育てに関する情報提供」…「重要度」については47.2%の人が「重要」であると回答（前回から約10ポイント上昇）、また「満足度」については約60%の人が「満足」「やや満足」と回答（前回から約14ポイント上昇） | 実態ニーズ調査【問35⑩】 | |
| | | | | 佐世保市がどんな支援をしてくれるのかわからない。 | 若者グループインタビュー | |
| | | | | SNS発信をしていただけると育児の合間に見やすい。最近の若者はネットで検索するよりも先にインスタで検索して情報を取りに行く | 若者グループインタビュー | |
| | | | | 佐世保市のホームページは文字ばかりでわかりづらい。自分から情報を取りに行くにしてもページまでの導線が悪い | 若者グループインタビュー | |